

定期接種

麻疹・風疹混合ワクチン（MR ワクチン）

予防する病気 麻疹（はしか）、風疹（三日はしか）

麻疹

高熱、激しい咳や鼻汁が続く重い病気で発熱後 3～4 日すると全身に発疹が現れます。感染力が極めて強いうえに肺炎や脳炎など重篤な合併症を起こすことがあり 500 人に 1 人くらいの死亡率です。さらに感染後 1 か月くらいは免疫力が低下してほかの感染症（肺炎、気管支炎、中耳炎など）にかかりやすくなります。

風疹

発疹や結膜充血、リンパ節の腫れなどが主な症状です。子どもの感染では熱は出ないことが多いです。麻疹より症状は軽いのですが妊娠 20 週ごろまでの妊婦さんが感染すると胎児に影響し生まれてくる子供に先天性な障害が生じることがあります。これを先天風疹症候群といいます。近年 20～40 歳代の男性を中心に流行が見られ妊婦さんへの感染源となることがあります。

ワクチン接種

1 歳から 2 歳の誕生日前までに 1 回目の接種をします。1 歳になったら早めに接種することをお勧めします。2 回目は小学校入学前の 1 年間（幼稚園、保育園の年長児）に接種します。